

議 第 31 号
平成30年4月23日提出

小中連携カリキュラム【熊本スタンダード】について

小中連携カリキュラム【熊本スタンダード】を策定したいので、議決を求める。

熊本市教育長 遠藤 洋路

(提出理由)

小中連携の強化や小中一貫教育につながる取組の更なる推進を図るため、小中連携カリキュラム【熊本スタンダード】を策定したいので、熊本市教育委員会教育長事務委任等規則(昭和27年教委規則第6号)第1条第1号の規定に基づき教育委員会の議決を求めるものである。

これが、この議案を提出する理由である。

目標: 公共の精神を尊び、豊かな人間性と創造性を備え、「徳・知・体」の調和のとれた次代を担う子どもを育成する。
 ~熊本市教育方針より~

小学校・中学校		小学校			中学校		
学年		低学年	中学年	高学年	1年	2年	3年
めざす姿		・なかよく遊び助け合う子ども	・よいところを認め、励まし合う子ども	・互いの違いを認め合い、よりよい考えをつくり出せる子ども	・自分の役割と責任を自覚するとともに、自他のよさを認めることができる子ども		・自他のよさを認め、他者と協働して集団生活の向上に努める子ども
豊かな心	あいさつ・返事	・気持ちのよいあいさつや返事をする。	・自分から進んで、誰に対しても気持ちのよいあいさつや返事をする。	・その場に応じた気持ちのよいあいさつをする。 ・相手を見て、その場に応じた返事をする。	・相手や時と場合に応じて、清々しい態度で周囲の人たちにあいさつをする。 ・時と場合に応じて、相手の状況を的確に判断し、言葉を選んで返事をする。		
	自他の理解力	・自分や友達の違いをみつけ、互いに認め合おうとする。	・自分と友達の違いや考えの違いに気付く、よいところを互いに認め合	・自分の長所や欠点に気付く、自分らしさを知る。 ・自分と異なる意見も理解し、互いに認め合う。	・他者の個性や立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方があることを理解し、互いに認め合う。 ・心から信頼できる友達をもち、互いに励まし合い、高め合う。		
	地域の一人として	・地域のよさを知り、地域の行事に参加する。	・地域のよさを知り、感謝の気持ちをもって地域の行事に参加する。	・地域の人々の思いを知り、地域の行事を手伝ったり参加したりする。	・地域の一人としての自覚をもち、地域の行事を手伝ったり参加したりするとともに、地域のためにできることを積極的に行う。		
確かな学力	話す	・自分の意見を順序よく、はっきりと話す。	・理由も入れながら、相手に伝わるように話す。	・場に応じた言葉遣いや声の大きさを話す。 ・伝えたいことを中心に話して話す。	・社会人として通用する言葉遣いで、目的や場面、相手に応じて、構成や表現を工夫しながら分かりやすく伝える。		
	聞く	・話す人の方を見て、大切なことは何かを考えながら聞く	・自分の考えと比べながら、相手が伝えたいことをしっかり聞く。	・相手の考えを否定せず、自分の意見とどう違うかを比べながら聞く。	・自分なりの意見を持ち、相手の意図や自分の意見との違いに気をつけて、そのよさを認めながら聞く。		
	家庭学習	・時間を決めて、宿題を自分からしていぬにする。		・宿題をするだけでなく、予習復習や自分なりの課題等について、自主学習をする。	・宿題の他に、予習や復習などを計画的に行う。 ・自分の課題や自分の興味があること等について、主体的に学習する。		
健やかな体	健康増進・体力の向上	・けがに気をつけて外遊びを楽しむ。 ・好き嫌いをなく食べる。	・安全に気をつけて、進んで運動する。 ・好き嫌いせず、感謝の気持ちをもって食べる。	・健康・安全の大切さを考え、積極的に運動する。 ・赤・黄・緑の食品を意識しながら感謝の気持ちをもって食べる。	・栄養のバランスを意識しながら望ましい食習慣を身につけ、時には自分で準備して食べる。 ・運動の楽しさや必要性を理解し、健康・安全に配慮しながら運動を適切に行い、体力の向上に努める。		
	生活習慣	・早寝早起きをする。 ・規則正しく睡眠をと	・体のことを考え、規則正しい生活をする。	・自ら、規則正しい生活をする。	・睡眠時間等について自己管理を行い、規則正しく健康に配慮した生活をする。		
・メディア機器（テレビ、パソコン、携帯電話、スマートフォン等）の使用について保護者と話し合い、ルールを守って正しく安全に利用する。							

小中連携カリキュラム【熊本市スタンダード】(案)と新学習指導要領との関連

< 注意事項 >

小中連携カリキュラム【熊本市スタンダード】(案)と関連がある新学習指導要領の記述について示している。

- ・黒文字・・・学習指導要領に記載の文章
- ・赤文字・・・学習指導要領に記載の文章で、同じ語句(または同等の意味の語句)が使用されているもの
- ・青文字・・・学習指導要領の解説に記載されている文章

あいさつ・返事

小学校・中学校		小学校			中学校		
学年		低学年	中学年	高学年	1年	2年	3年
豊かな心	あいさつ・返事	・気持ちのよいあいさつや返事をする。	・自分から進んで、誰に対しても気持ちのよいあいさつや返事をする。	・その場に応じた気持ちのよいあいさつをする。 ・相手を見て、その場に応じた返事をする。	・相手や時と場合に応じて、清々しい態度で周囲の人たちにあいさつをする。 ・時と場合に応じて、相手の状況を的確に判断し、言葉を選んで返事をする。		

新学習指導要領との関連	【道徳】[礼儀] 気持ちのよい挨拶, 言葉遣い, 動作などに心掛けて, 明るく接すること。	【道徳】[礼儀] 礼儀の大切さを知り, 誰に対しても真心をもって接すること。	【道徳】[礼儀] 時と場をわきまえて, 礼儀正しく真心をもって接すること。	【道徳】[礼儀] 礼儀の意義を理解し, 時と場に応じた適切な言動をとること。
	【道徳】[正直, 誠実] うそをついたりごまかしをしたりしないで, 素直に伸び伸びと生活すること。	【道徳】[正直, 誠実] 過ちは素直に改め, 正直に明るい心で生活すること。	【道徳】[正直, 誠実] 誠実に, 明るい心で生活すること。	
	【道徳】[善悪の判断, 自律, 自由と責任] よいことと悪いこととの区別をし, よいと思うことを進んで行うこと。	【道徳】[善悪の判断, 自律, 自由と責任] 正しいと判断したことは, 自信をもって行うこと。	【道徳】[善悪の判断, 自律, 自由と責任] 自由を大切に, 自律的に判断し, 責任のある行動をすること。	【道徳】[自主, 自律, 自由と責任] 自律の精神を重んじ, 自主的に考え, 判断し, 誠実に実行してその結果に責任をもつこと。
	【道徳】[節度, 節制] 健康や安全に気を付け, 物や金銭を大切に, 身の回りを整え, わがままをしないで, 規則正しい生活をする。	【道徳】[節度, 節制] 自分でできることは自分でやり, 安全に気を付け, よく考えて行動し, 節度のある生活をする。	【道徳】[節度, 節制] 安全に気を付けることや, 生活習慣の大切さについて理解し, 自分の生活を見直し, 節度を守り節制に心掛けること。	【道徳】[節度, 節制] 望ましい生活習慣を身に付け, 心身の健康の増進を図り, 節度を守り節制に心掛け, 安全で調和のある生活をする。
	【道徳】[規則の尊重] 約束やきまりを守り, みんなが使う物を大切にすること。	【道徳】[規則の尊重] 約束や社会のきまりの意義を理解し, それらを守ること。	【道徳】[規則の尊重] 法やきまりの意義を理解した上で進んでそれらを守り, 自他の権利を大切に, 義務を果たすこと。	【道徳】[遵法精神, 公德心] 法やきまりの意義を理解し, それらを進んで守るとともに, そのよい在り方について考え, 自他の権利を大切に, 義務を果たして, 規律ある安定した社会の実現に努めること。

自他の理解力

小学校・中学校		小学校			中学校		
学年		低学年	中学年	高学年	1年	2年	3年
豊かな心	自他の理解力	・自分や友達のよいところを見つけ、互いに認め合おうとす	・自分と友達の思いや考えの違いに気付く、よいところを互いに認め合う。	・自分の長所や欠点に気付き、自分らしさを知る。 ・自分と異なる意見も理解し、互いに認め合う。	・他者の個性や立場を尊重し、いろいろなもの見方や考え方があることを理解し、互いに認め合う。 ・心から信頼できる友達をもち、互いに励まし合い、高め合う。		

新学習指導要領との関連	【道徳】[個性の伸長] 自分の特徴に気付くこと。	【道徳】[個性の伸長] 自分の特徴に気付く、長所を伸ばすこと。	【道徳】[個性の伸長] 自分の特徴を知って、短所を改め長所を伸ばすこと。	【道徳】[向上心、個性の伸長] 自己を見つめ、自己の向上を図るとともに、個性を伸ばして充実した生き方を追求すること。
	【道徳】[友情、信頼] 友達と仲よくし、助け合うこと。	【道徳】[友情、信頼] 友達と互いに理解し、信頼し、助け合うこと。	【道徳】[友情、信頼] 友達と互いに信頼し、学び合って友情を深め、異性についても理解しながら、人間関係を築いていくこと。	【道徳】[友情、信頼] 友情の尊さを理解して心から信頼できる友達をもち、互いに励まし合い、高め合うとともに、異性についての理解を深め、悩みや葛藤も経験しながら人間関係を深めていくこと。
		【道徳】[相互理解、寛容] 自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、相手のことを理解し、自分と異なる意見も大切にすること。	【道徳】[相互理解、寛容] 自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、謙虚な心を持ち、広い心で自分と異なる意見や立場を尊重すること。	【道徳】[相互理解、寛容] 自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなもの見方や考え方があることを理解し、寛容の心をもって謙虚に他に学び、自らを高めていくこと。
	【道徳】[公正、公平、社会正義] 自分の好き嫌いにとらわれずに接すること。	【道徳】[公正、公平、社会正義] 誰に対しても分け隔てをせず、公正、公平な態度で接すること。	【道徳】[公正、公平、社会正義] 誰に対しても差別をすることや偏見をもつことなく、公正、公平な態度で接し、正義の実現に努めること。	【道徳】[公正、公平、社会正義] 正義と公正さを重んじ、誰に対しても公平に接し、差別や偏見のない社会の実現に努めること。
	【道徳】[親切、思いやり] 身近にいる人に温かい心で接し、親切にすること。	【道徳】[親切、思いやり] 相手のことを思いやり、進んで親切にすること。	【道徳】[親切、思いやり] 誰に対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にすること。	【道徳】[思いやり、感謝] 思いやりの心をもって人と接するとともに、家族などの支えや多くの人の善意により日々の生活や現在の自分があることに感謝し、進んでそれに応え、人間愛の精神を深めること。
	【道徳】[感謝] 家族など日頃世話になっている人々に感謝すること。	【道徳】[感謝] 家族など生活を支えてくれている人や現在の生活を築いてくれた高齢者に、尊敬と感謝の気持ちをもって接すること。	【道徳】[感謝] 日々の生活が家族や過去からの多くの人の支え合いや助け合いで成り立っていることに感謝し、それに応えること。	

地域の一員として

小学校・中学校		小学校			中学校		
学年		低学年	中学年	高学年	1年	2年	3年
豊かな心	地域の一員として	・地域のよさを知り、地域の行事に参加する。		・地域のよさを知り、感謝の気持ちをもって地域の行事に参加する。	・地域の人々の思いを知り、地域の行事を手伝ったり参加したりする。		・地域の一員としての自覚をもち、地域の行事を手伝ったり参加したりするとともに、地域のためにできることを積極的に行う。

新学習指導要領との関連	<p>【道徳】【伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度】 我が国や郷土の文化と生活に親しみ、愛着をもつこと。</p>	<p>【道徳】【伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度】 我が国や郷土の伝統と文化を大切にし、国や郷土を愛する心をもつこと。</p>	<p>【道徳】【伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度】 我が国や郷土の伝統と文化を大切にし、先人の努力を知り、国や郷土を愛する心をもつこと。</p>	<p>【道徳】【郷土の伝統と文化の尊重, 郷土を愛する態度】 郷土の伝統と文化を大切にし、社会に尽くした先人や高齢者に尊敬の念を深め、地域社会の一員としての自覚をもって郷土を愛し、進んで郷土の発展に努めること。 [我が国の伝統と文化の尊重, 国を愛する態度] 優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献するとともに、日本人としての自覚をもって国を愛し、国家及び社会の形成者として、その発展に努めること。</p>
	<p>【道徳】【国際理解, 国際親善】 他国の人々や文化に親しむこと。</p>	<p>【道徳】【国際理解, 国際親善】 他国の人々や文化に親しみ、関心をもつこと。</p>	<p>【道徳】【国際理解, 国際親善】 他国の人々や文化について理解し、日本人としての自覚をもって国際親善に努めること。</p>	<p>【道徳】【国際理解, 国際貢献】 世界の中の日本人としての自覚をもち、他国を尊重し、国際的視野に立って、世界の平和と人類の発展に寄与すること。</p>
	<p>【道徳】【勤労, 公共の精神】 働くことのよさを知り、みんなのために働くこと。</p>	<p>【道徳】【勤労, 公共の精神】 働くことの大切さを知り、進んでみんなのために働くこと。</p>	<p>【道徳】【勤労, 公共の精神】 働くことや社会に奉仕することの充実感を味わうとともに、その意義を理解し、公共のために役に立つことをすること。</p>	<p>【道徳】【社会参画, 公共の精神】 社会参画の意識と社会連帯の自覚を高め、公共の精神をもってよりよい社会の実現に努めること。 [勤労] 勤労の尊さや意義を理解し、将来の生き方について考えを深め、勤労を通じて社会に貢献すること。</p>
	<p>【特別活動】 学級活動(3)一人一人のキャリア形成と自己実現 イ 社会参画意識の醸成や働くことの意義の理解 「清掃などの当番活動や係活動等の自己の役割を自覚して協働することの意義を理解し、社会の一員として役割を果たすために必要となることについて主体的に考えて行動すること。」 <育成を目指す資質・能力> 学級や学校のために友達と力を合わせて働くことの意義を理解し、自己の役割を考えると工夫しながら役割を果たすことができるようにする。また、こうした過程を通して、社会の一員として、責任をもって主体的に行動しようとする態度を養う。 学校行事(5)勤労生産・奉仕的行事 「勤労の尊さや生産の喜びを体得するとともに、ボランティア活動等の社会奉仕の精神を養う体験が得られるようにすること。」 <育成を目指す資質・能力> 学校や地域社会など公共のために役立つことや働くことへの関心をもち、勤労や生産、他者への奉仕に積極的に取り組もうとする態度を養う。</p>	<p>【特別活動】 学級活動(3)一人一人のキャリア形成と自己実現 イ 社会参画の意識の醸成や勤労観・職業観の形成 「社会の一員としての自覚や責任を持ち、社会生活を営む上で必要なマナーやルール、働くことや社会に貢献することについて考えて行動すること。」 学校行事(5)勤労生産・奉仕的行事 「勤労の尊さや生産の喜びを体得し、職場体験活動などの勤労観・職業観に関わる啓発的な体験が得られるようにするとともに、共に助け合って生きることの喜びを体得し、ボランティア活動などの社会奉仕の精神を養う体験が得られるようにすること。」</p>		

話す

小学校・中学校		小学校			中学校		
学年		低学年	中学年	高学年	1年	2年	3年
確かな学力	話す	・自分の意見を順序よく、はっきりと話す。	・理由も入れながら、相手に伝わるように話す。	・場に応じた言葉遣いや声の大きさを話す。 ・伝えたいことの内容をはっきりさせて話す。	・社会人として通用する言葉遣いで、目的や場面、相手に応じて、構成や表現を工夫しながら分かりやすく伝える。		

新学習指導要領との関連(話す)	【国語】(指導内容) 「話すこと・聞くこと」第1学年及び第2学年(1) イ 相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考慮すること。 ウ 伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫すること。	【国語】(指導内容) 「話すこと・聞くこと」第3学年及び第4学年(1) イ 相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるように話の構成を考慮すること。	【国語】(指導内容) 「知識及び技能」第5学年及び第6学年(1) キ 日常よく使われる敬語を理解し使い慣れること。 「話すこと・聞くこと」第5学年及び第6学年(1) イ 話の内容が明確になるように、事実と感想、意見をくべるするなど、話の構成を考慮すること。 「話すこと・聞くこと」第3学年及び第4学年(1) ウ 話の中心や話す場面を意識して、言葉の強弱、間の取り方などを工夫する。	【国語】(指導内容) 「知識及び技能」第3学年(1) ウ 敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使うこと。 「話すこと・聞くこと」第1学年(1) ウ 相手の反応を踏まえながら、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫すること。 「話すこと・聞くこと」第3学年(1) ウ 場の状況に応じて言葉を選ぶなど、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫すること。
	【国語】(目標) 第1学年及び第2学年【思考力、判断力、表現力等】 順序立てて考える力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもつことができるようにする。	【国語】(目標) 第3学年及び第4学年【思考力、判断力、表現力等】 筋道を立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめることができるようにする。	【国語】(目標) 第5学年及び第6学年【知識及び技能】 日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。 第5学年及び第6学年【思考力、判断力、表現力等】 筋道を立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げることができるようにする。	【国語】(目標) 第3学年【知識及び技能】 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解することができるようにする 第3学年【思考力、判断力、表現力等】 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

聞く

小学校・中学校		小学校			中学校		
学年		低学年	中学年	高学年	1年	2年	3年
確かな学力	聞く	・話す人の方を見て、大切なことは何かを考えながら聞く。	・自分の考えと比べながら、相手が伝えたいことをしっかり聞く。	・相手の考えを否定せず、自分の意見とどう違うかを比べながら聞く。	・自分なりの意見を持ち、相手の意図や自分の意見との違いに気をつけて、そのよさを認めながら聞く。		

新学習指導要領との関連 (聞く)	<p>【国語】(指導内容) 「話すこと・聞くこと」第1学年及び第2学年(1)</p> <p>オ 互いの話に関心を持ち、相手の発言を受けて話をつなぐこと。</p> <p>エ 話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつこと。</p>	<p>【国語】(指導内容) 「話すこと・聞くこと」第3学年及び第4学年(1)</p> <p>オ 目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見や共通点や相違点に着目して、考えをまとめること。</p> <p>エ 必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えをもつこと。</p>	<p>【国語】(指導内容) 「話すこと・聞くこと」第3学年及び第4学年(1)</p> <p>オ 互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすること。</p> <p>エ 話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめること。</p>	<p>【国語】(指導内容) 「話すこと・聞くこと」第1学年(1)</p> <p>エ 必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点などを踏まえて、自分の考えをまとめること。</p> <p>「話すこと・聞くこと」第2学年(1)</p> <p>エ 論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめること。</p> <p>オ 互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめること。</p>
	<p>【国語】(目標) 第1学年及び第2学年【思考力、判断力、表現力等】 順序立てて考える力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもつことができるようにする。</p>	<p>【国語】(目標) 第3学年及び第4学年【思考力、判断力、表現力等】 筋道を立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめることができるようにする。</p>	<p>【国語】(目標) 第5学年及び第6学年【思考力、判断力、表現力等】 筋道を立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げることができるようにする。</p>	<p>【国語】(目標) 第3学年【思考力、判断力、表現力等】 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p>

家庭学習

小学校・中学校		小学校			中学校		
学年		低学年	中学年	高学年	1年	2年	3年
確かな学力	家庭学習	・時間を決めて、宿題を自分からていねいにする。			・宿題をするだけでなく、予習復習や自分なりの課題等について、自主学習をする。		・宿題の他に、予習や復習などを計画的に行う。 ・自分の課題や自分の興味があること等について、主体的に学習する。



新学習指導要領との関連 (家庭学習)	<p>【学級活動】(家庭学習) 学級活動(3)一人一人のキャリア形成と自己実現 ウ 主体的な学習態度の形成と学校図書館等の活用 「学ぶことの意義や現在及び将来の学習と自己実現とのつながりを考えたり、自主的に学習する場としての学校図書館等を活用したりしながら、学習の見通しを立て、振り返ること。」 <育成を目指す資質・能力> 学習することの楽しさや価値に気付いたり、学習の見通しや振り返りの大切さを理解したり、学校図書館等を日々の学習に効果的に活用するなど、自分に合った効果的な学習の方法を考えたり、学ぶことが将来の自己実現にどうつながっていくかについて考え、主体的に学習することができるようにしたりする。また、こうした過程を通して、生涯にわたって主体的に学び続けようとする態度を養う。</p>	<p>【学級活動】(家庭学習) 学級活動(3)一人一人のキャリア形成と自己実現 ア 社会生活、職業生活との接続を踏まえた主体的な学習態度の形成と学校図書館等の活用 「現在及び将来の学習と自己実現のつながりを考えたり、自主的に学習する場としての学校図書館等を活用したりしながら、学ぶことと働くことの意義を意識して学習の見通しを立て、振り返ること。」 <育成を目指す資質・能力> 現在の学習が将来の社会・職業生活の基盤になることや、他者との関わりを通して自己の将来に関する考えを深めることの大切さを理解し、自己を見つめ、これまでの活動を振り返りながら主体的に新たな学習に取り組むことができるようになる。また、そうした過程を通して、自己実現を目指した努力と改善を積み重ね、生涯にわたって学び続けようとする態度を育てる。</p>
-----------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

健康増進・体力向上

小学校・中学校		小学校			中学校		
学年		低学年	中学年	高学年	1年	2年	3年
健やかな体	健康増進・体力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・けがに気をつけて外遊びを楽しむ。 ・好き嫌いをなく食べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全に気をつけて、進んで運動する。 ・好き嫌いせず、感謝の気持ちをもって食べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康・安全の大切さを考え、積極的に運動する。 ・赤・黄・緑の食品を意識しながら感謝の気持ちをもって食べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養のバランスを意識しながら望ましい食習慣を身につけ、時には自分で準備して食べる。 ・運動の楽しさや必要性を理解し、健康・安全に配慮しながら運動を適切に行い、体力の向上に努める。 		

新学習指導要領との関連 (健康増進・体力の向上)	<p>【特別活動】(健康増進・体力の向上) 学級活動(2) 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全 イ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成 「現在及び生涯にわたって心身の健康を保持増進することや、事件や事故、災害等から身を守り安全に行動すること。」 <育成を目指す資質・能力> 現在及び生涯にわたって心身の健康を保持増進するには自己管理が大切であることや、防災を含め、日常及び災害時の安全確保には正しい知識が大切であることを理解すること、健康安全を意識した行動の仕方を身に付け、情報を集め状況に応じてよりよく判断を行い行動することができるようにする。また、そうした過程を通して、主体的に心身の健康を保持したり安全に行動したりしようとする態度を養う。</p> <p>エ 食育の観点から踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成 「給食の時間を中心としながら、健康によい食事のとり方など、望ましい食習慣の形成を図るとともに、食事を通して人間関係をよりよくすること。」 <育成を目指す資質・能力> 望ましい食習慣の形成を図ることの大切さや、食事を通して人間関係をよりよくすることのよさや意義などを理解すること、給食の時間の楽しい食事の在り方や健康によい食事のとり方などについて考え、改善を図って望ましい食習慣を形成するために判断し行動することができるようにする。また、そうした過程を通して、主体的に望ましい食習慣や食生活を実現しようとする態度を養う。</p>	<p>【特別活動】(健康増進・体力の向上) 学級活動(2) 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全 イ 心身ともに健康で安全な生活態度や習慣の形成 「節度ある生活を送るなど現在及び生涯にわたって心身の健康を維持することや、事件や事故、災害等から身を守り安全に行動すること。」 <育成を目指す資質・能力> 現在及び生涯にわたって心身の健康を保持増進するために、節度ある生活を送り、自己管理を行うことの意義やそのために必要となることを理解し、日常及び災害時の安全確保に向けた正しい情報の収集と理解ができるようになる。学校内外における自己の生活を見直し、自らの生活環境や健康維持に必要な生活習慣等を考えるとともに、安全に配慮した的確な行動がとれるようになる。また、そうした過程を通して、主体的に生活環境の改善や健康の維持増進に努めるとともに、状況に応じて自他の安全を確保する態度を育てる。</p> <p>エ 食育の観点から踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成 「給食の時間を中心としながら、成長や健康管理を意識するなど、望ましい食習慣の形成を図るとともに、食事を通して人間関係をよりよくすること。」 <育成を目指す資質・能力> 健康や食習慣の正しい知識が大切であることを理解し、給食の時間の衛生的で共同的な楽しい食事の在り方等を工夫するとともに、自らの生活や今後の成長、将来の生活と食生活の関係について考え、望ましい食習慣を形成するために判断して行動ができるようにする。また、そうした過程を通して、健康な心身や充実した生活を意識して、主体的に適切な食習慣を形成する態度を育てる。</p>	
	<p>【体育】 (各学年の目標及び内容)(第1学年及び第2学年) 1(1) 各種の運動遊びの楽しさに触れ、その行い方を知るとともに、基本的な動きを身に付けるようにする。</p>	<p>【体育】 (各学年の目標及び内容)(第3学年及び第4学年) 1(1) 各種の運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方及び健康で安全な生活や体の発育・発達について理解するとともに、基本的な動きや技能を身に付けるようにする。</p>	<p>【体育】 (各学年の目標及び内容)(第5学年及び第6学年) 1(1) 各種の運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方及び心の健康やけがの防止、病気の予防について理解するとともに、各種の運動の特性に応じた基本的な技能及び健康で安全な生活を営むための技能を身に付けるようにする。</p>

生活習慣

小学校・中学校		小学校			中学校		
学年		低学年	中学年	高学年	1年	2年	3年
健やかな 体	生活習慣	<ul style="list-style-type: none"> ・早寝早起きをする。 ・規則正しく睡眠をと 	<ul style="list-style-type: none"> ・体のことを考え、規則正しい生活をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら、規則正しい生活をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・睡眠時間等について自己管理を行い、規則正しく健康に配慮した生活をする。 		
		<ul style="list-style-type: none"> ・メディア機器（テレビ、パソコン、携帯電話、スマートフォン等）の使用について保護者と話し合い、ルールを守って正しく安全に利用する。 					

新学習指導要領 との関連 (生活習慣)	<p>【道徳】(節度、節制) 健康や安全に気を付け、物や金銭を大切に、身の回りを整え、わがままをしないで、規則正しい生活をすること。 時刻を守り時間を大切にすることや生活に一定のリズムを与え、わがままをしない規則正しい生活が自分にとって大切なことであり、そのような生活が快適な毎日を送ることにつながることを気付かせ、基本的な生活習慣を確実に身に付けることができるように繰り返し指導する必要がある。</p>	<p>【道徳】(節度、節制) 自分でできることは自分でやり、安全に気を付け、よく考えて行動し、節度のある生活をすること。</p>	<p>【道徳】(節度、節制) 安全に気を付けることや、生活習慣の大切さについて理解し、自分の生活を見直し、節度を守り節制に心掛けること。 児童一人一人が自分の生活を振り返り、改善すべき点などについて進んで見直しながら、望ましい生活習慣を積極的に築くとともに、自ら節度を守り節制に心掛けるように継続的に指導することが求められる。</p>	<p>【道徳】(節度、節制) 望ましい生活習慣を身に付け、心身の健康の推進を図り、節度を守り節制に心掛け、安全で調和のある生活をすること。 節度を守り節制に心掛けることは、望ましい生活習慣を身に付けることにつながっており、心身の健康を増進し、気力と活力に満ちあふれた充実した人生を送るうえで欠くことのできないものであり、積極的に捉えるべき価値であるといえることができる。</p>
		<p>【体育 保健領域】 3・4年「毎日の生活と健康」、「育ちゆく体とわたし」</p>	<p>【体育 保健領域】 5・6年「心の健康」(対処についても考える)、「けがの防止」、「病気の予防」</p>	<p>【体育 保健分野】 個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。</p>
	<p>【特別活動】(学級活動・学年段階での配慮事項) 話合いの進め方に沿って、自分の意見を発表したり、他者の意見をよく聞いたりして、合意形成して実践することのよさを理解すること。基本的な生活習慣や、約束やきまりを守ることの大切さを理解して行動し、生活をよくするための目標を決めて実行すること。</p>	<p>【特別活動】(学級活動・学年段階での配慮事項) 理由を明確にして考えを伝えたり、自分と異なる意見も受け入れたりしながら、集団としての目標や活動内容について合意形成を図り、実践すること。自分のよさや役割を自覚し、よく考えて行動するなど節度ある生活を送ること。</p>	<p>【特別活動】(学級活動・学年段階での配慮事項) 相手の思いを受け止めて聞いたり、相手の立場や考え方を理解したりして、多様な意見のよさを積極的に生かして合意形成を図り、実践すること。高い目標をもって粘り強く努力し、自他のよさを伸ばし合うようにすること。</p>	<p>【特別活動】(学級活動での配慮事項) 中学校生活は、それまでの小学校での生活と異なり、教師と生徒及び生徒相互の人間関係も多様になり、また学習面ではその内容等が深化するなど、生活環境や学習環境が大きく変化してくる。また、自我の目覚めや思春期における不安や悩みなど新たな発達上の課題にも直面するようになる。学級活動の指導計画の作成に当たっては、生徒の実態に応じ、いわゆる中1ギャップによる学校不適応等に十分配慮し、また、小学校高学年の学級活動との接続も図って、生徒に希望や目標をもたせるとともに、達成感を味わわせることができるよう工夫する必要がある。</p>

指導要領には、「内容項目」「内容項目ごとの概要」「指導の要点」が書かれています。「指導の要点」には、実態も書かれています。

と「・」は、「内容項目ごとの概要」に、「は」指導の要点」に書かれていたことです。

小中連携カリキュラム「熊本市スタンダード」(案)の活用について

平成30年5月、校区の実態に応じて「連携の柱」を設定する。(全小中学校)

- ・各中学校区において、「熊本市スタンダード」(案)を参考にしながら、校区の実態に応じた「連携の柱」を設定する。

平成31年12月、中学校区ごとに「連携カリキュラム」を作成する。

(全小中学校)

- ・各中学校区で目指す子ども像を明らかにし、地域の特性や子どもの実態に応じた「連携カリキュラム」を作成する。(小中学校全校)
- ・作成時に「熊本市スタンダード」(案)を参考にしてもらうが、「熊本市スタンダード」(案)のすべての項目を取り入れるのではなく、例えば、あいさつや生活習慣に特化したり、学習面を中心に取入れたりしながら、その校区の実態に応じた「連携カリキュラム」になるようにする。

義務教育9年間のゴール(目指す子どもの姿)を明確にする。

- ・連携カリキュラムの作成を通して、各中学校区における『義務教育9年間のゴール(目指す子どもの姿)』を共有するとともに、9年間を見通した目標の設定や系統性・連続性を見通した指導等ができるようにする。